



みどりの子 4月号

学校教育目標

進んで学ぶ人になろう ・ 心豊かな人になろう ・ 健康な人になろう

所沢市立荒幡小学校

地域とともに歩む、学校づくり

校長 大川 光子

柔らかな陽ざしのもとに、生きるものすべてに、命の輝きをあたえられる美しい季節を迎えました。

このたび、荒幡小学校、3年目を迎えました校長の大川光子です。

ここ数年、気候の変化等により、校庭の桜の開花も始業式・入学式より、早くなっておりましたが、今年は、子ども達の入学や進級を祝うかのように、見事に満開に花を咲かせております。

また、4月に入り、学校の周りの木々も、一日一日と変化し、柔らかなうす緑色になってきました。



改めて、この荒幡地区の環境のよさと大自然や地域の皆様の優しさを強く感じているところです。

春から夏にかけての時期は動植物の成長の季節です。

四季の移り変わりの顕著な日本では、古来より、この季節感が人間の心理に大きく影響を与えてきているように思います。

幼少期の感受性の豊かな子ども達にとってはことさらのようです。

きっと、本校の子ども達も、それとは気付かず、しかしながら、荒幡の自然の息吹に触発されて、「やってみよう、できそうだ」と感じとっているものと思われま。

私は、このとき、この春が、きわめて大切な教育の契機と考えております。

そして、このように、子ども達がそれとなくもっている「やる気」を、いろいろな教育活動を実践する中で、実体のあるものにしていくことが大きな役目であると考えます。

そのためには、教師や家庭の愛情に基づく励ましや学習へのかまえづくりが大切になってきます。特に、今年度は「学習へのかまえづくり」に、さらに力を入れ、落ち着いて学習できるように一層努めてまいりたいと思います。

保護者の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。